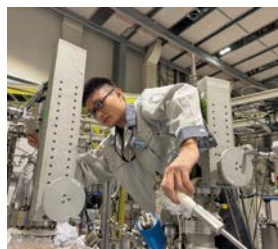
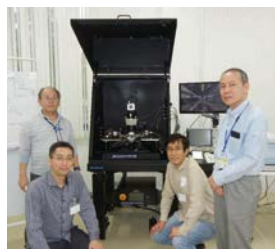


設備共用を支える技術スタッフ

Technical Staff Supporting Shared Facilities

全国500名以上の優れた専任の技術スタッフが、共用装置をご利用いただくための設備のメンテナンス、操作トレーニング、技術補助、技術代行など、利用者の研究開発をサポートします。技術スタッフは、支援力強化と技術のスキルアップのため、日々相互研鑽に励んでいます。



技術スタッフ研修会

workshop for Technical Staff

●全国の技術スタッフが支援現場の課題や取り組みをお互いに共有することで、スキルアップと利用者の満足度向上に取り組んでいます。

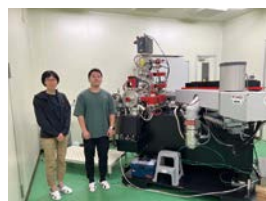


令和6年度の技術スタッフ研修会の様子

技術スタッフ個別研修プログラム

Training Program for Technical Staff

●技術スタッフが自身の専門技術を深めるとともに専門以外の知識・技術の幅を広げ、他の機関の現場を知り、スタッフとの交流を図るため、他の支援機関へ数日間滞在して、受け入れ機関の装置の実習、支援技術の講義の受講、ディスカッションを行っています。



語り合わせとAIイオンミリングによるTEM試料作りとTEM観察(印刷)
植物または平面的異質性を有したTEM観察試料作製実習
電子顕微鏡装置を用いたナノパターン作製
島津の顕微鏡・マン・システム・顕微鏡外部光化
Field-SEM/TEMを用いた有機物・無機物の基礎研究
ITP-STEMによるパターンングと顕微鏡による確認
MEMS加熱ホルダーによるもの場TEM観察
顕微鏡の制御による顕微鏡イメージング実習
二次元電子顕微鏡(グラフェン)を用いたマイクロデバイス作製
第一電子顕微鏡(STEM)を用いた材料科学研究者向け高度プログラム開発
スピントロニクスデバイス用磁性薄膜の作製と評価
固体NMR測定技術の習得
産業型デュアルX線分光分析装置によるXPS測定
FE-EPMAによる元素分析の習得(定特)
FE-EPMAによる元素分析の習得(定量・マップ)

令和6年度研修プログラム(54件)の一例

技術スタッフ表彰

Award for Technical Staff

●事業に貢献した技術スタッフを毎年表彰しています。



令和5年度の技術スタッフ表彰の様子

当ブースで
令和6年度表彰者の
「支援実績」を紹介
しております。

令和6年度よりデータエンジニアが支援をしています

Introduction to data engineers

●令和6年度よりデータエンジニアが皆様のデータ登録のサポートを開始しています。

CONTACT

マテリアル先端リサーチインフラ センターハブ運営室
〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門
E-mail: ARIM_info@nanonet.go.jp URL: https://nanonet.mext.go.jp/

